

順番	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
1	<p>第6番 内川 史朗</p>	<p>農業用水路の水の管理について</p>	<p>農作業については、日頃から村も手助けをいただき、ありがとうございます。しかしながら、農業をするためには施設や環境の整備が大事だと考えます。ついては、4つの質問をさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 白馬町において、冬期間農業用水路に水がないのは何故ですか。「もろみになってしまう」とよく聞きますが、冬でも水路に水を流しているところがあるため、流しているところと流さないところがある理由をお聞かせください。</li> <li>2. 春一番で苗代の代掻きが始まる4月の頭に、必要な水が来ません。この件についてどのような対策をしてもらえますか。</li> <li>3. 秋の農作業についても、同様に水が止まってしまいます。畑にも水は必要ですが、村はコメ農家だけの為に水を流しているのでしょうか。どうして水を止めるのか、お伺いします。</li> <li>4. 白馬町と深空の土地改良区については、側溝が出来ていますが、水下が土側溝であるため水の流れが悪く、詰まりやすくなっています。その部分についても、U字溝の設置をしないのか、お伺いします。</li> </ol>	<p>村 長</p>
2	<p>第10番 丸山 和之</p>	<p>宿泊税について</p>	<p>6月から宿泊税が導入されます。インバウンド効果もあり、観光はコロナ禍から順調に再興しており、地域の観光施策の財源として、法定外目的税に着目する自治体は増えています。</p> <p>宿泊税は、地方の観光業の持続可能性を支える、自治体独自の財源として重要度が高いものと感じています。</p> <p>一方で、納税者に対する理解や納得度の向上は必要であり、また、使途に対する不透明感は、地域住民の間に戸惑いや疑問を持たれるといった課題もあるかと思えます。</p>	<p>村 長</p>

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答弁者
2	第10番 丸山 和之	宿泊税につ いて	<p>しかし、我々のような小さな自治体としては、観光資源の開発やインフラ整備、また、オーバーツーリズム対策などの必要性が、今後、高まることが想定されますので、観光振興の充実を図ることは重要であり、そのための独自財源を確保することは不可欠なものと考えます。</p> <p>そこで次のことについて伺います。</p> <p>(1) 宿泊税については、事業者以外の地域住民には、まだまだ理解されていない部分もあるかと思えます。そこで、改めて宿泊税を導入するにあたっての経緯と、県に準ずる形を選んだ理由について伺います。</p> <p>(2) 宿泊税の納税者は利用者であり、地域住民とは異なりますが、税収の使い道が不透明だと理解が得られないこともあるかと感じます。そこで、使途の決定はどのような形で決めていくのか、また、その使い道の透明性の確保はどのようにされていくのか伺います。</p> <p>(3) 宿泊税はあくまでも、宿泊行為に対して係るものと理解していますが、その支払方法は様々であります。そのことによって、宿泊事業者の事務負担という懸念が出てくると考えます。そこで、徴収に関しての問題点はどのようなものがあり、今回の事業者に対するシステム改修によって、そのようなことは解決されているのか伺います。</p> <p>(4) 宿泊税は法定外目的税であります。徴収すれば、そのまま自治体の収入になるので、観光関連の財源としては有効なものとしてされています。そこで、観光関連に有効な法定外目的税は、宿泊税以外にどのようなものが考えられるのか、また、今後は交付税に頼らない独自財源の確保が必要となってくると考えますが、財政構造を見直していくようなお考えはあるのか伺います。</p>	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答弁者
3	第1番 丸山 宏充	観光防災マ ニュアルにつ いて	<p>本村は、北アルプスの麓に位置し、四季を通じて多くの 人々が訪れる観光地であると同時に住民の暮らしの場 でもあります。豊かな自然に囲まれる一方で、地震や豪雨、 土砂災害などの自然災害リスクを常に抱える地域でもあ ります。</p> <p>近年では、海外からの観光客が増加し、繁忙期には人口 構成が大きく変化する状況になっています。こうした中 で災害が発生した場合住民のみならず、土地勘がなく日 本語による情報取得に不慣れな滞在者の安全確保も村と して極めて重要な責務であると考えます。</p> <p>防災対策は、災害が起きてから対応するものでなく、平 時からの備えと体制作りが何より重要と考えます。そこ で、本村における防災マニュアルや災害対応体制につい て、現状と課題を整理し、今後の防災対策の充実に向け た考え方をお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本村には観光防災マニュアルがあるが、行政の責務 として「住民の生命と財産を守る」という観点から、 住民をどのように位置づけ、観光客との関係性につ いて、行政としてどのように整理し、考えているかお 伺いします。</li> <li>2. 繁忙期には住民数を大きく上回る滞在者がいる中で、 災害時の避難誘導や安否確認など、防災マニュアル 上、どこまで想定されているかお伺いします。あわせ て、住民と観光客が同時に避難所を利用する場合の 避難所運営の考え方や、備蓄物資の確保・配分につい て、どのように整理されているのかお伺いします。</li> <li>3. 宿泊施設における、災害時の初動対応や情報伝達に ついて、村として統一した対応方針やマニュアルは あるのかお伺いします。</li> <li>4. 災害時の多言語での情報発信について、防災無線、S NS、アプリ等含め、村としてどのような体制を整え ているのかお伺いします。</li> </ol>	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答弁者
3	第1番 丸山 宏充	観光防災マニュアルについて	<p>5. 観光地、山岳地と言う特性を踏まえ、現行のマニュアルを今後どのように見直し、実効性を高めていく考えか、村の見解をお伺いします。</p> <p>6. 現在、本村では総務課が防災業務を担当しているが、今後、防災課の新設や防災監の配置など、体制強化について検討しているかお伺いします。</p>	村 長
4	第5番 酒井 洋	社会経済の急速な変化に伴う公共インフラの維持について	<p>人口減少で税収も人手も細る中、公共インフラを維持することは多くの自治体で課題となっています。</p> <p>県は新年度予算のポイントとして、「未来を創る改革 継続予算—社会の基本設計をアップデートする」というタイトルを付け、公共インフラの下支えに力を入れることを明確にしました。</p> <p>当村の公共インフラを維持するためには、構造そのものを組み替える発想が必要になると思います。</p> <p>今後の取組等について、考えを伺います。</p> <p>① 県は、公共インフラの下支えの最たる分野として交通・医療・農業インフラを挙げていますが、当村におけるそれぞれの課題と重点戦略があればお聞かせください。</p> <p>② 国・県は、都市基盤施設の適正な管理（インフラマネジメント）と冗長性（リダンダンシー）という言葉が強調し、インフラの考え方そのものを変える方向性を示しています。</p> <p>一見矛盾する考え方ですが、インフラを賢く管理し守るべきところは二重化して強くする方向性に舵を切りました。</p> <p>全部を維持するのではなく、必要なところだけ冗長化させ、メリハリをつける方向性です。どこを撤退縮小し、どこを冗長化すべきか 具体的優先順位、重みづけに関する考えを伺います。</p> <p>③ 人口が減少すると道路・上下水道・公共施設を同じように維持するのは不可能です。今後は「撤退・集約計画」を策定し制度化するお考えはありますか。</p>	村 長

順 番	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答弁者
4	第5番 酒井 洋	社会経済の 急速な変化に 伴う公共イン フラの維持に ついて	<p>④道路管理（除雪・舗装・橋梁点検の共同発注）、上・下 水道、デマンド交通の広域運行等、公共インフラの維持 管理を「広域化」し、スケールメリットを出す考えはあ りますか。</p> <p>⑤公共インフラを“人手で維持する”発想から“デジタ ルで監視・最適化する”発想で軽量化する取組はあり ますか。</p> <p>⑥企業版ふるさと納税を活用した道路施設整備や観光収 益の一部をインフラの維持基金として積み立てるなど して、観光・産業とインフラを一体で構築する予定はあ りますか。</p>	村 長